

# 青年部研修会に参加して

2013年11月18日 コンセーレアイスホール 参加者107名



新小山市民病院  
高木 知佳子

研修会では、これから  
の医療・看護についての  
他施設とのグループワー  
クに参加し、講演を講聴  
した。

グループワークでは、  
他施設の看護師と病院の  
取り組みや仕事に対する  
悩みを打ち明けることが  
でき、良い交流が持てた。

講演では、生活習慣病

予防と医療費抑制を課題としてワンコイン検診という  
自己検診の場を設け、人々の健康の意識づけの向上を  
図る活動をしていることに感銘を受けた。

このような社会に貢献できる活動は、これから医療・  
看護を考えに行く上でとても重要なことだと思う。私も日々の業務の中で何か社会に貢献できることはないか  
考えたが、今出来ることは患者様が安全・安心して  
治療が受けられるよう、責任を持って看護業務を行う  
ことであると思った。そのためにも、自己研鑽に努め  
ていきたい。



国際医療福祉大学病院  
福田 敬也

何かを変えてゆく、進  
歩してゆく為にはアクショ  
ンを起こす必要があり、  
アクションを成功に導く  
為には、段階的にカテゴ  
リーを大きくしてゆく必  
要がある。それには個人  
のエネルギーだけではなく、  
集合体としてエネルギー  
が必要である。又、それ  
を我々看護師は皆、内包

しているのだと、研修を通して、感じる事ができた。  
今回、私は青年部実行委員として研修に参加させてい  
ただき、常日頃の参加者という立場では感じる事ので  
きなかった看護師の集団の何かを変えたいというエネ  
ルギーを感じる事ができた。そしてそのエネルギーを  
私達青年部実行委員が連盟へ届くよう援助してゆく大  
切さも認識した。

私達看護師のエネルギーが連盟と共に鳴り、政治力と  
して発現してゆけば、看護職者として次の段階へ発展  
していく事を確信している。

